

第5回 伊那市入札等検討委員会 会議概要

開催日時及び場所	平成22年7月27日(火) 午後1時30分より3時30分まで 市役所 庁議室			
出席委員	委員長	牛山 彦一	(税理士)	
	副委員長	佐々木 隆	(大学教授)	
	委員	酒井 庄平	(公認会計士)	
	委員	平島 史彦	(弁護士)	
審査対象期間	平成22年2月1日～平成22年5月31日			
抽出案件	工事	一般競争入札	4件	(備考)
		指名競争入札	0件	
		随意契約	0件	
	委託業務	一般競争入札	1件	
		指名競争入札	0件	
		随意契約	1件	
	合計		6件	
意見・質問		回答		
会議の概要	○ 議事			
	(1) 報告事項			
	ア 前回の委員会で出された検討要望事項の検討結果報告			
	前回の委員会で出された検討要望事項に対し事務局から説明を行った。			
	検討要望事項「不落となった案件について、その後の経過を入札方式別発注工事等一覧表の中で判るようにできないか。」			
	事務局説明「不落・不調の場合、その備考欄に再度入札を行った場合の入札番号を記載することにした。また、一覧に載らなかったものは、落札日を記載することにした。」			
	(資料No.1 P2以降参照)			
	(2) 審議			
	ア 建設工事等に係る入札及び契約状況の報告			
	事務局より、審査対象期間内の入札及び契約状況について報告した。 (資料No.1参照)			
イ 抽出事案の審議				
6件の抽出事案について、事務局より説明し、委員により審議された。 (資料No.1参照)				
ウ その他				
(ア) 総合評価一般競争入札の導入について				
事務局より、総合評価一般競争入札について説明した。 (資料No.2参照)				
議事の終了にあたり、議長が委員に対し、市長に対する意見具申の有無について意見を求め、無いことを確認した。				
○ その他				
(1) 事務局から平成18年度から21年度までの落札率について説明した。 (資料No.3参照)				
(2) 次の点について確認をした。				
ア 定例会は年3回開催するため、次回は11月。				
イ 案件の抽出については、牛山委員長が、6～9月分を10月に行う。				

意見・質問	回答
議事 (1)報告事項 ア 前回の委員会で出された検討要望事項の検討結果報告	
○ 質問意見等なし	
議事 (2)審議 ア 建設工事等に係る入札及び契約状況の報告	
○ 質問意見等なし	
議事 (2)審議 イ 抽出事案の審議 1 「平成21年度 春富中学校耐震補強・部分改築他 建築工事」	
○ 小中学校の耐震工事が多い。補強工事について、本年度の重点施策なのか。	○ 耐震化率が全国平均より低い。IS値(建物の耐震性能の構造耐震指標)が0.3未満の建物について工事を進めたい。現在の耐震化率は、40%であるが、平成22年度の事業が完了すれば、耐震化率は60%になる。平成24年には70%にしたい。
議事 (2)審議 イ 抽出事案の審議 2 「平成21年度 春富中学校耐震補強・部分改築他 機械設備工事」	
○ 予定価格を超えた3者は、最低制限価格の計算には含まれないのか。 ○ 最低制限価格の計算によって失格になることがある。5者以上か否かでも変わる。ルールだから仕方がないのか。	○ 予定価格を超えた者は含めない。 ○ 最低制限の計算方法は様々あるが、県はこのような計算方法を取り入れており、談合防止のため、入札者数、入札金額によって最低制限価格が変動する。予定価格に一定率を乗じ最低制限価格を決める方法もあるが、本市では、県の計算方法を参考にした。
議事 (2)審議 イ 抽出事案の審議 3・4 「平成21年度 伊那西小学校工事 耐震補強工事」	
○ 案件3と案件4と比べ、予定価格が上がっている。設計を見直したのか、それとも単価を見直したのか。 ○ 最初の入札では、全業者が予定価格以上であり、設計を見直した再入札でも、3者が予定価格以上となった。何か原因はあるのか。 ○ 市には改善点はないのか。 ○ 施工中、想定外の事態が発生した場合、市は対応し、改善されるのか。	○ 内外装の材料等の単価を見直した。 ○ 単価を設定する際、新築工事と改修工事とは考え方が違う。設計業者、または工事業者に不慣れな部分があったのかもしれない。耐震補強工事の発注が集中したため、下請けの相場が上昇したのかもしれない。 ○ 市・業者共に慣れていない部分があったかと考える。情報公開により設計書の開示を行っている。市の考えが業者に解るようになるのではないかと。 ○ 設計書にないもの、当初想定できていなかったものについては変更の対象としている。材料価格が急激に変動したような場合についても変更の対象としている。

委員からの意見・質問、それに対する回答等

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 金入りの設計書を公開していくと、設計に対する市の考えが伝わり、その結果、容易に予定価格の想定ができるようになる。
競争性を確保することができるのか。 ○ 価格だけで決定するのはいかなものか。
特定業者が常に受注するとか、逆に受注できないとかの事例が発生しないか。
落札者の決定にあたり、受注の手持ち工事量や、受注の累積金額を加味することにより、受注量を平準化させるための対応はできないか。 ○ 運で落札者が決まっているように思える。それがいいかどうか。
業者別の受注量を把握しておく必要があるのではないか。 ○ 自由競争が原則である。しかし、業者間の金額に差がない。予定価格に対して数%程度の差だ。
自由競争の原理が働いているか疑問だ。 ○ 重要なテーマである。
累積のデータは出しておくべきではないか。 ○ 現状に問題があるといっているわけではない。
視点を変えてみる必要もあるのではないか。
今後検討してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国・県において単価を公表しているものについては、100%の金額が出る。
工事費の積算においては、市が業者から見積を徴し、積算する部分がある。その部分を100%算出することは困難ではないか。 ○ 以前検討したことがある。
前月一定件数受注したら、当月は受注不可。といった方式を採用している自治体もある。
手持ち工事量等により参加制限することに問題がないかどうかの検討が必要。
業者からの要望はない。市としては、入札金額で落札業者を決定する方法を基本としていきたい。 ○ 総合評価方式で手持ち工事量を加味する方法も考えられる。
市として業者ごとの全ての累積データは持っていない。 ○ 今後総合評価方式を導入するが、その中で、手持ち工事量について評価項目に入れることができるかもしれない。
当面は、価格で決定する。 ○ 入札制度に課題は多い。改善もしてきた。
伊那市の入札制度は、県を基本としている。今後の県の動きを見ながら対応していきたい。 |
|---|--|

議事 (2)審議

イ 抽出事案の審議 5

「平成22年度 地籍調査事業 長狭物仮杭設置業務委託 富県3-3区」

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 立会人はいなかったのか。 ○ この入札経過書を見る限り違和感を感じる。
時系列で比較すれば何かわかるのでは。
設計額がほぼ100%積算できる中で、1番と2番の価格に開きがある。
この調書だけ見ると、何かあるのではないかと感じる。
他の測量業務に関わる経過書を見ないとなんとも言えないが。 ○ この調書のみで追加調査とはならないが、視点を変えてみる必要がある。
入札の仕組みからしてこのような事例が多いのであれば問題ではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 測量業務の開札には、業者が来ない傾向があるが、入札事務に関わりのない職員が必ず立ち会っている。
立会いは入札者の権利であるため、なるべく来てほしいと考える。 ○ 時系列の経過書を出すことは可能だ。 ○ 必要な資料があれば用意したい。 |
|---|--|

議事 (2)審議

イ 抽出事案の審議 6

「平成21年度 春富中学校 耐震補強・部分改築他建設工事 監理業務委託」

<ul style="list-style-type: none"> ○ 見積は4回行っても予定価格に達しなければ後はどう対応するのか。 ○ 第1回見積もり金額は、予定価格と開きがある。市の見積は正確だったのか。 ○ 設計と監理は一括で入札したほうがわかり易い。 建設工事の入札があったということは、この工事の設計業務の入札もあったのか。 ○ 設計の入札にあたり、プロポーザル等を取り入れないのか。 建設工事費は、設計業者が決めるのか。 ○ 工事費の決定方法は。 ○ 行政で金額を固め、発注するのか。 ○ 耐震補強工事には色々なパターンがあるだろう。それにより金額にも差が出る。 その辺は、県の審査会でチェックが入るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競争入札になる。 ○ 積算基準があり、それに基づき積算している。 ○ 入札済である。 ○ 場合によりプロポーザル方式を行うことがある。 旧上伊那図書館は行った。 工事費については、市で金額を示し、設計業者はその金額に納まるよう設計する。 ○ 耐震補強工事は、設計の入札の前に業者による耐震診断を行う。そこで工法と概算の工事費が算出される。 その後、県の判定会に諮ることにより、工法・工事費の審査がされる。 その後設計の入札を行う。 ○ 耐震診断業務を実施することにより、概算金額が算出される。県の判定会が審査した工事費を基に、市が最終決定する。 診断業務については、入札により業者を決める。 ○ チェックされる。
<p>議事 (2)審議 ウ その他 (ア) 総合評価一般競争入札の導入について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 制度については、議会の承認が必要なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 要綱で制度内容を決めるので、承認は不要。
<p>その他 (1)平成21年度の建設工事等の落札率について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 質問意見等なし 	
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>